

栃木県立宇都宮高等学校英語部の活動報告

月	報告欄	チェック欄		
4月	○17(日) Flower Cup参加(オンライン) ○24(日) 県高文連春季セミナー及び練習会①(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		1(金)~6(水) 9(土) 10(日) 16(土) 30(土)		
5月	○7(土) 8(日) 渋幕杯(オンライン) ○30(日) 県高文連春季練習会②参加(宇高→オンラインに変更)参加	休養日	教頭	校長
		1(日) 3(火) 15(日)~28(土)		
6月	○12(日) 県高文連春季大会参加(宇東高→オンラインに変更)参加 ※優勝 ○19(日) 高校生英語ディベート大会春季交流戦 Sprinter Cup(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		5(日) 11(土) 18(土) 21(火)~30(木)		
7月	○23(土) 県高文連夏季練習会(作新学院→オンラインに変更)参加 ○31(日) 竹園練習会(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		1(金)~5(火) 9(土) 10(日) 14(木) 18(月) 24(日) 20(火) 30(土)		
8月	○5(金)~6(土) PDA合宿大会(オンライン)参加 ○27(土) 28(日) 筑駒オープン(オンライン)参加 ○28(日) HEnDA認定高校生英語ディベート南関東ブロック大会(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		1(月) 7(日)~18(木) 21(日) 30(火)		
9月	○4(日) 宇高祭(一般公開)参加 ○11(日) 県高文連秋季練習会① ○12(月) 宇高祭(ステージ発表)参加 ○12(月) 県高文連第1回秋季練習会参加(宇高→オンラインに変更)参加	休養日	教頭	校長
		5(月) 13(火) 18(日) 19(月) 24(土)~30(金)		
10月	○9(日) HEnDA認定ブロック大会 Make Friends Cup(オンライン)参加 ※優勝(全国大会決定) ○16(日) HEnDA認定東海ブロック大会(オンライン)参加 ○23(日) 県高文連第3回秋季練習会参加(宇東高)参加	休養日	教頭	校長
		1(土)~7(金) 10(月) 17(月) 22(土) 29(土) 30(日)		
11月	○6(日) 第14回D-1英語ディベート選手権大会兼第17回全国高校生英語ディベート大会栃木県予選大会(宇高)参加 ※準優勝 ○12(土) 13(日) 渋谷学園主催SOLA Cup(オンライン)参加 ○27(日) 竹園練習会(全国大会出場チームによる練習会)(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		7(月) 12(土) 13(日) 17(木) 19(土)~30(水)		
12月	○11(日) 県高文連冬季練習会①(宇女→オンラインに変更)参加 ○17(土)~18(日) 第17回全国高校生英語ディベート大会(オンライン) ※第7位 ○24(土)~25(日) 第8回PDA高校生即興型英語ディベート全国大会(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		1(木)~2(金) 12(月) 19(月) 27(火)~31(土)		
1月	○9(月) 県高文連冬季練習会②(宇高)参加 ○21(土) Mixidea主催Route H大会(青学)参加 ○29(日) HPDU連盟杯県予選(宇東)参加 ※準優勝(全国大会決定)	休養日	教頭	校長
		1(土)~5(水) 10(火) 14(土)~17(火) 22(日) 28(土) 30(月)		
2月	○4(土) 一橋大学ディベート同好会主催Asian Bridge大会(オンライン)参加 ○5(日) 立山ウインターカップ高校生英語ディベート大会(オンライン)参加 ○12(日) さいたまウインターカップ高校生英語ディベート大会(オンライン)参加 ○19(日) 県高文連冬季練習会③(オンライン)参加 Mixidea主催Route H大会(オンライン)参加	休養日	教頭	校長
		7(火)~17(金) 20(月) 25(土) 26(日)		
3月	○18(日) 県高文連冬季大会(宇女)参加 ※優勝 ○25(土)~27(日) 第12回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯(HPDU)全国大会(国立オリンピック記念青少年センター)参加	休養日	教頭	校長
		4(土) 7(火) 12(日) 13(月) 19(日) 21(火) 28(火)~31(金)		
年間を通じた反省	昨年度に引き続きコロナ禍ではあったが、競技の特性上オンラインでの実施が可能のため、大会を目標に練習することができた。また、休業日の練習をオンラインで実施することで、効率よく行うことができた。3学期には政府の規制が緩和され、いくつかの大会に対人で参加することができ生徒のモチベーションを上げることができた。来年度はさらに多くの大会が対人で実施され、ディベートの醍醐味を味わわせることができるとよいと思う。	教頭	校長	